

学校教育目標

- ◎自己の可能性を信じ、何事にも主体的にチャレンジする生徒の育成
- ◎広い視野を持ち、地域社会の形成にすすんで参画できる生徒の育成

普通科

笛吹高校の3年間で身に付けてほしい力

- ・自己の進路目標を明確に持ち、その目標の実現に向けて努力を行う強い心
- ・日々の授業を大切にし、基礎・基本となる学力の定着に努める意欲
- ・自己の時間管理を行い、毎日の継続的な家庭での学習習慣を身につける態度
- ・上級学校のオープンキャンパスやホームページ等を活用して、進路目標の実現に向けて自ら情報収集を行う積極性

1年次の目標

- ・自己と向き合い将来の進路について考える中で、文系・理系の選択に向けた調査を行い、各科目の内容を理解した上で文理の決定を行う
- ・基礎基本の定着に向けた家庭学習時間の確保
- ・各科目の特性を理解し、家庭学習において取り組むべき内容を理解する

2年次の目標

- ・具体的な進路目標の設定を行うことで、3年次に向けた科目履修登録に備える
- ・文系、理系の専門科目が増えていく中で、家庭における学習の積み重ねの大切さを再認識する

3年次の目標

- ・1、2年次に身につけた力をもとに、発展的内容を習得することに意欲的に取り組む
- ・進路実現に向けて日々の授業を大切にしながら、家庭学習により一層の努力を行う

学ぶ皆さんへの助言・アドバイス

5教科の授業は学年が上がるにつれて難易度が増していきます。授業での積み残しが無いように1時間、1時間を大切にして下さい。分からぬことをそのままにしておくことが最も良くない態度です。「ある授業の内容が理解できない」→「次の授業が更に分からない」→……という負のスパイラルに陥らないよう、授業中や授業後に先生に質問をして理解することに努めましょう。

自己の進路実現に向けて各学年に応じた進路意識が大切です。1年生では将来の「進路分野・方面」、2年生では「具体的な志望校の決定」が最低ラインです。進路目標がはつきりとすることで、日々の授業に対する意欲も変わってくるはずです。自己と向き合い、将来を見つめることができます。

自己の進路実現に向けて日々の授業を大切にし、家庭学習の習慣をつけ、模擬試験で力試しを行い、出来なかったことを家庭学習や先生に質問をして補っていく、という生活ができるようにしましょう。

	教科	科目	
1	国語	国語総合 現代文	
2	国語	国語総合 古典	
3	地理歴史	世界史 A	
4	地理歴史	日本史 A	
5	数学	数学 I	
6	数学	数学 A	
7	理科	物理基礎	
8	理科	生物基礎	
9	保健体育	体育	
10	保健体育	保健	
11	外国語	コミュニケーション英語 I	
12	外国語	英語表現 I	
13	家庭	家庭基礎	
14	芸術	音楽 I	選択
15	芸術	美術 I	選択
16	芸術	書道 I	選択

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	国語 国語総合（古典）	単位	2	履修区分	必履修 ・必修 ・選択	
対象学年・類型・コース	1年 普通科・総合学科					
使用教科書	『標準国語総合』（第一学習社）					
副教材	新国語便覧（第一学習社）・ 完全マスター古典文法（第一学習社）					
目標とする生徒の将来像	日本人が古くから親しんできた優れた文学作品を読むことで、日本古来のものの見方、感じ方、考え方に対する関心を深め、人生をより豊かにする糧にすると共に、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。					
評価の観点	①関心・態度・意欲：古典を読む力を高め、古典への理解や関心を深めようとしているか。 ②読む能力：古典に表された思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させているか。 ③知識・理解：伝統的な言語文化・言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けているか。					
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法 ※テスト=定期考查含	自己評価	
1 学 期	第1回定期試験 5/21～	・古文入門「児そら寝」 ・古文を読むために①②ろさを理解し、正確に音読する。 歴史的仮名遣い 現代語との違い ・「絵仮師良秀」 ・古文をよむために③ 用言の活用	・古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解し、正確に音読する。 歴史的仮名遣いに習熟し、古文の特徴を理解する。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・用言の活用を理解する。	① 授業態度・ノート ② 音読・内容理解 ③ テスト	A B C A B C A B C	
	第2回定期試験 7/3～	・漢文入門「訓読に親しむ」 ・漢文を読むため①②③ ・故事成語「五十歩百歩」	・漢文に親しみを持ち、漢文を学習する意義を知る。 ・漢文を日本の文化に取り入れた先人の工夫（訓読）を理解する。 ・故事成語の意味等を理解する。	① 授業態度・ノート ② 音読・内容理解 ③ テスト	A B C A B C A B C	
2 学 期	第3回定期試験 10/2～	・徒然草「つれづれなるままに」「仁和寺にある法師」 ・伊勢物語「筒井筒」 ・古文を読むために④ 助動詞・助詞	・作者・兼好法師の人間、社会などに対する思想や感情を読み取る。 ・助動詞を理解し、口語訳に活かす。 ・歌物語における和歌の役割の理解と修辞技巧を理解する。 ・助動詞・助詞を理解し、口語訳に活かす。	① 授業態度・ノート ② 音読・内容理解 ③ テスト	A B C A B C A B C A B C A B C	
	第4回定期試験 12/4～	・故事成語「矛盾」 ・故事成語の由来と意味調べ ・唐詩 4編	・故事成語の意味と成り立ちを理解する。 ・副教材・図書館資料などを活用し、故事成語を調べ、発表する。 ・作品を深く味わい、漢詩のきまりを理解する。	① 授業態度・ノート ② 音読・内容理解 ③ 発表・テスト	A B C A B C A B C A B C	
3 学 期	第5回定期試験 2/22～	・土佐日記「門出」 ・奥の細道「平泉」	・作者の置かれている状況を理解し、作者の思想や感情を読み取る。 ・人生を旅と見る作者の思想を理解する。	① 授業態度・ノート ② 音読・内容理解 ③ テスト	A B C A B C A B C	
	履修にあたって	古典とは「古い古い作品」ではなく、長い長い時を超えて、多くの人びとに感動を与え続けてきた本物の芸術作品です！真の芸術作品に触れて、人生を豊かにしましょう。				

教科年間シラバス

詳細は授業にて指示

教科・科目	地理歴史・世界史A	単位数	2	必履修	<input checked="" type="radio"/> 必修	・ 選択
学年・系列・コース	1年全学科全クラス					
使用教科書	世界史A（実教出版）	副教材	アカデミア世界史			
目標とする生徒の将来像	近現代史を中心とする世界の歴史を、諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する。現代の諸課題を歴史的観点から考察し、歴史的思考を培う。国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。					

学期	単元・教材	主たる目標・つけたい力	評価の観点
1 学期	第1章 ヨーラシアの諸文明の特質 1 西アジア世界・イスラーム世界 2 ヨーロッパ世界 3 南アジア世界・東南アジア世界 4 東アジア世界・内陸アジア世界 第2章 ヨーラシアの交流 1 海と陸の交流 2 モンゴル帝国と東西の交流 3 ヨーロッパ商業圏と東アジア海域の発展 第3章 一体化に向かう世界 1 世界の一体化の第一歩 2 ルネサンスと宗教改革 3 ヨーロッパの主権国家体制	<ul style="list-style-type: none"> ・西アジア世界・イスラーム世界の特質の把握 ・ヨーロッパの風土と諸民族、ヨーロッパ世界の特質の把握。南アジア・東南アジアの風土と諸民族、南アジア世界・東南アジア世界の特質の把握。 ・東アジア・内陸アジアの風土と諸民族、国際体制、日本を含む東アジア世界の特質の把握。 ・ヨーラシアの諸地域を結ぶ海と陸のネットワークの成長の把握。 ・モンゴル帝国の拡大とヨーラシアの一体化の把握。 ・ヨーロッパにおける商業圏の発展や、日本を含む東アジア海域の交流圏の成長の把握。 ・大航海時代の世界の一体化への動きの理解。 ・ヨーロッパの主権国家体制の成立への理解。 	①②③
2 学期	第4章 アジアの繁栄と世界 1 アジアの繁栄 2 世界経済体制の形成 第5章 19世紀の世界の一体化と日本 1 産業革命と工業化社会の成立 2 アメリカ独立戦争 3 フランス革命とナポレオン戦争 第6章 二つの世界大戦 1 激変する社会と帝国主義 2 第一次世界大戦とロシア革命 3 戦間期のヨーロッパとアメリカ 4 民族運動の高まり 5 第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展、拡大する貿易活動を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける資本主義の確立と国民形成を理解する。 ・ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中の日本の対応を扱い、19世紀の世界の一体化とその特質を理解する。 ・輸送革命、マスメディアの発達、企業や国家の巨大化、社会の大衆化と政治や文化の変容、公教育の普及と国民統合などを扱い、20世紀という時代の特質を人類的視野から把握できる。 ・第一次世界大戦と第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格、それらが及ぼした影響を理解し、平和の意義などについて考察できる。 	①②③
3 学期	第7章 第二次世界大戦後の世界と日本 1 冷たい戦争 2 アジア・アフリカ諸国の独立と混乱 3 多極化の進展と冷戦体制の崩壊 第8章 現代の世界 1 統合へ向かうヨーロッパ 2 旧ソ連・東ヨーロッパ諸国の動向 3 アメリカの戦争と世界同時不況 4 西アジアの混迷 5 南アジア・東南アジアの動き 6 巨大化する中国と東アジアの変動 7 ラテンアメリカ・アフリカ・オセアニアの情勢 終章 持続可能な世界をめざして 1 巨大技術と人間 2 人が人らしく生きるために 3 なお続く紛争	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦後の世界が抱える問題などについて考察できる。 ・1970年代以降の市場経済の世界化や地球規模での問題の出現を理解し、日本が世界の諸国、諸地域と多様性を認めあいながら共存する方向などについて考察する。 ・原子力の利用、情報科学など現代の科学技術の人類への寄与と課題、移民や女性・子どもなど様々な人々に関する問題、地域紛争の原因とその歴史的背景などを追究し、人種の生存と環境、世界の平和と安全などについて考察するとともに、国際的な交流と協調の必要性に気付くことができる。 	①②③
検定資格(時期) 諸費用(予定)	なし		
履修にあたって		常になぜ・どうして、こういうことが起こったのだろうか。目的は何だったのかという疑問を持ち、いろいろな方法を使って考え、自分の意見や考え方を持つことができるようになることを期待します。	

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	日本史A	単位	2	履修区分	必履修・必修・選択
対象学年・類型・コース				1年普通科 2年普通科（選択者）	食品化学科・果樹園芸科（選択者）
使用教科書				高等学校改訂版	日本史A～人・暮らし・未来～（第一学習者）
目標とする生徒の将来像	我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
評価の観点	①定期試験 ②授業中の関心・意欲・態度・発問の観点等 ③単元ごとに実施する小テストなど				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価
1 学 期	第1回定期試験	第1章 近代国家の形成と国際関係の推移 第1節 近代への胎動	・江戸時代の日本の对外関係について理解する。 ・近世後半の産業、教育や学問・思想などの発展について理解し、さらに、これらが近代文化の基盤となったことを理解する。	定期試験 ノート提出	
	第2回定期試験	第2節 明治維新 第3節 近代国家の確立	・明治政府の初期の諸政策によって、近代日本の基礎が形成されたことを理解する。 ・明治政府の中央集権化・藩閥専制の傾向に対し、自由民権運動がおこり、国民の政治的関心が高揚し憲法制定・国会開設に至る、一連の動きを理解する	定期試験 ノート提出	
2 学 期	第3回定期試験	第2章 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢 第1節 近代産業の発展と社会運動の展開 第2節 国民生活の変化と文化	・日清・日露戦争の過程で、日本に産業革命がおこり、資本主義が確立したことを理解する。 ・資本主義の発展によって産業構造が変化し、これにともない、都市における貧民問題や労働問題など、さまざまな社会問題が発生したことを理解する。	定期試験 ノート提出	
	第4回定期試験	第3節 第一次世界大戦と日本 第4節 第二次世界大戦と日本	・第一次世界大戦に日本が参戦した意図、また第一次世界大戦を通しての日本の外交方針について理解する。 ・中国・アメリカを中心とした国際関係の変化にも着目しながら、太平洋戦争に至る過程を理解する。	定期試験 ノート提出	
3 学 期	第5回定期試験	第3章 現代の日本と世界 第1節 日本の再出発 第2節 独立後の政治と对外関係	・第二次世界大戦後の連合国による対日占領政策、民主化の諸改革の内容について理解する。 ・主権回復後の日本の国内的な政治の推移と、新しい外交関係の確立の動きについて理解する	定期試験 ノート提出	
	検定資格（時期） ・ 諸費用（予定）	特になし			
	履修にあたって	ただの暗記教科ではなく、「なぜ？」という歴史的な疑問を持って授業に臨むことが大切である。歴史が苦手な生徒でも、授業内での間に積極的に答えることで、苦手を克服することができる。			

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	数学 I+A	単位	3+2	履修区分	必履修	・必修	・選択
対象学年・類型・コース	1年 普通科						
使用教科書	教研出版 改訂版 新編数学 I 教研出版 改訂版 新編数学 A						
目標とする生徒の将来像	数学を通して、様々なことを数学を活用して考察し表現する能力を高める。						
評価の観点	(1) 定期試験 (2) 日常の学習活動 (①週末課題確認テスト・②授業への参加・③提出物・④標準考查)						
学 期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方 法	自己評価 法		
1 学 期	第1回定期試験	数学 I 第1章 1. 整式の加法減法～ 8. 絶対値を含む方程式・不等式	・基礎的な考え方について理解を深め、活用できるようにする。	・定期試験 ・授業小テスト ・授業への参加 ・提出物	A B C		
	第2回定期試験	数学 I 第2章 数学A 第1章 1. 集合の要素と個数～ 4. 組合せ		・定期試験 ・授業小テスト ・授業への参加 ・提出物	A B C		
2 学 期	第3回定期試験	数学A 第1章 5. 事象と確率～ 8. 条件付き確率 数学 I 第3章 1. 関数とグラフ～ 4. 2次関数の決定	・確率の意味を知り、身近な現象と結びつけて考えることが出来る。 ・グラフの意味を理解し、表現できるようにする。	・定期試験 ・授業小テスト ・授業への参加 ・提出物	A B C		
	第4回定期試験	数学 I 第3章 5. 2次方程式～ 7. 2次不等式 第4章	・2次方程式の解法とその意味を理解し、その発展として2次不等式の解法が出来るようになる。	・定期試験 ・授業小テスト ・授業への参加 ・提出物	A B C		
3 学 期	第5回定期試験	数学A 第2章 数学 I 第5章	・平面図形や空間図形の性質について理解を深め、それらを考察、活用できるようにする。 ・身近なデータを処理できるようにする。	・定期試験 ・授業小テスト ・授業への参加 ・提出物	A B C		
	検定資格（時期） ・ 諸費用（予定）						
	履修にあたって	数学に苦手意識を持っている生徒も多いと思います。高校の数学はすべて内容がつながっていますので、しっかりと復習をしておきましょう。特に基本的な計算は訓練をしておくことが大切です。					

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	理科・物理基礎	単位	2	履修区分	必履修	・必修	・選択
対象学年・類型・コース	1年・普通科						
使用教科書	東京書籍 「改訂 新編物理基礎」(物理3)						
目標とする生徒の将来像	<ul style="list-style-type: none"> 興味・関心と探究心をもって自然の事物・現象を物理学的に考察できる生徒。 目的意識をもって観察・実験を行い、結果から新たな発見を見いだそうとする生徒。 						
評価の観点	<p>①【関心・意欲・態度】 ・学習活動に積極的に参加したか。　・提出物の作成に意欲的に取り組んだか。</p> <p>②【思考・判断】 ・物理学的思考の「過程」を行えているか。</p> <p>③【実験の技能】 ・観察・実験を安全に遂行できたか。　・それぞれの操作の意味を理解し、正確にできたか。</p> <p>④【知識・理解】 ・物理学について、基本的な知識を身につけることができたか。</p>						
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価		
1 学期	第1回定期試験	1-1章：直線運動の世界 速さ ～ 等加速度運動(2)	・運動の表し方、相対速度、及び等加速度直線運動に関する基本的な概念や公式を学び、運動を解析する方法を身につけている。	①観察・提出物 ②観察・試験 ③観察・提出物 ④定期試験	A B C A B C A B C A B C		
	第2回定期試験	1-1章：直線運動の世界 自由落下 ～ 1-2章：力と運動の法則 力の合成と分解	・等加速度直線運動をもとにし、多くの複雑な運動の理解に至ることを知り、運動の多様性と簡単な解析の方法を習得し、考察できる。	①観察・提出物 ②観察・試験 ③観察・提出物 ④定期試験	A B C A B C A B C A B C		
2 学期	第3回定期試験	1-2章：力と運動の法則 作用・反作用の法則 ～ 抵抗力と浮力	・物体にはたらいている力を正しく見いだし、運動方程式を立てることができる。 ・摩擦力、及び液体や気体から受ける力(圧力、浮力、抵抗力)について説明できる。	①観察・提出物 ②観察・試験 ③観察・提出物 ④定期試験	A B C A B C A B C A B C		
	第4回定期試験	1-3章：仕事とエネルギー 仕事 ～ 2-1章：熱 熱の移動と保存	・仕事・仕事の原理・仕事率・エネルギーという基本的な概念を学び、力学的エネルギー保存の法則について成立条件を含めて知識を活用できる。 ・熱力学の基本について学び、法則・公式を活用できる。	①観察・提出物 ②観察・試験 ③観察・提出物 ④定期試験	A B C A B C A B C A B C		
3 学期	第5回定期試験	2-1章：熱 熱と仕事 ～ 2-2章：波 振動する気柱	・波動に関する事象・現象についての基本的な概念を形成している。	①観察・提出物 ②観察・試験 ④定期試験	A B C A B C A B C		
	検定資格	なし					
	履修にあたって	答えより、なぜそのような答えを導き出せるのかといった過程に意味があります。公式や法則を丸暗記といった学習ではなく、なぜその公式を使うのか、どういった法則なのかを「説明できる」を目標に学習を行ってください。問題演習の際も、式と答えだけではなく、言葉でその式を使う根拠や、説明を加えるよう心がけましょう。					

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	理科 生物基礎	単位	2	履修区分	必履修 ・必修 ・選択
対象学年・類型・コース	1年 普通科				
使用教科書	『改訂 生物基礎』東京書籍（生基311）				
副教材					
目標とする生徒の将来像	遺伝子・健康・環境など、日常生活や社会とのかかわりを考えるために必要な科学的素養を高める。				
評価の観点	①【关心・意欲・態度】生物や生物現象について関心をもち、意欲的に考えるとともに、科学的な見方や考え方を身につける。 ②【思考・判断・表現】生物や生物現象を科学的に考え、的確に説明する。 ③【観察・実験の技能】生物や生物現象について観察・実験の基本操作を習得する。 ④【知識・理解】生物や生物現象について、基本的な知識を身につける。				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法 ※テスト=定期考查含	自己評価
1 学 期	第1回定期試験	・生物の多様性と共通性 ・生命活動とエネルギー	・生物の基本単位は細胞であること。 ・生命活動のエネルギーはATPのエネルギーが利用されること。 ・代謝には必ず酵素が関与している。	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察等 ②③実験レポート	A B C A B C A B C A B C
	第2回定期試験	・生物と遺伝子 ・遺伝情報の分配	・遺伝子の本体がDNAであること。 ・DNAはヌクレオチドがつながった高分子化合物であること ・DNAの塩基配列が遺伝情報をなっていること。 ・体細胞分裂の過程において遺伝情報が均等に分配されることを理解する。 ・細胞周期の過程を理解する。	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察等 ②③実験レポート	A B C A B C A B C A B C
	第3回定期試験	・遺伝情報とタンパク質の合成	・セントラルドグマを理解する。 ・ゲノムとは何か。	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察等	A B C A B C A B C
	第4回定期試験	・体内環境 ・体内環境を維持するしくみ	・体内環境を理解する。 ・肝臓や腎臓を学び、体内環境を維持していること。 ・自律神経系による調節と内分泌系による調節。	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察等 ②③実験レポート	A B C A B C A B C A B C
3 学 期	第5回定期試験	・免疫 ・植生の多様性と遷移 ・バイオームとその分布	・自然免疫と適応免疫。 ・予防接種や血清療法といった治療法があること。 ・アレルギーや自己免疫疾患、エイズなどの発症。 ・植生の決定要因。 ・植生の遷移。 ・バイオームと気候の関係。 ・日本のバイオームについて。	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察等	A B C A B C A B C
	検定資格（時期） 諸費用（予定）	なし			
	履修にあたって	授業で指示された問題は必ず解けるようとする。 いつも「なぜ？」という疑問は持ち続け、自分で調べる。 問題集の問題は、完全に理解できるまで繰り返し解く。 定期試験、模擬試験の問題は必ず取って置き、間違えたところは必ず出来るようにする。			

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	保健体育・体育	単位	3	履修区分	必履修	・必修	・選択	
対象学年・類型・コース		1年普通科						
使用教科書		なし						
目標とする生徒の将来像		<ul style="list-style-type: none"> 時間やルールを厳守し、率先して与えられた役割を確実にこなそうとする、責任感のある生徒。 運動の技能や知識を身につけ、高めていくために努力を継続することができる生徒。 積極的に活動に参加し、自己表現や他者への配慮などのコミュニケーションをとろうとする、信頼できる生徒。 						
評価の観点		<p>①【関心・意欲・態度】 時間やルールを守ることや、仲間とともに積極的に活動へ参加しようとしているか。</p> <p>②【思考・判断】 技能の向上のために、工夫したり、仲間と協力したりしているか。</p> <p>③【技能】 自己の身体を思い通りに扱い、正確な技能が發揮できているか。</p> <p>④【知識・理解】 技能が向上するための身体動作や運動の特性を理解し、知識を理解しているか。</p>						
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価			
1 学 期	第1回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> 体つくり運動（体力を高める運動、集合、整頓、列の増減、集団としての行動） 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な運動能力を身につける 大きな声を出すとともに、迅速に集団としての協調的な動きができるようになる。 	①観察 ②観察 ③テスト ④観察	A B C A B C A B C A B C			
	第2回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> バレー（男子） ソフトボール（女子） 	<ul style="list-style-type: none"> 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できる。 	①観察 ②観察 ③テスト ④ワークシート	A B C A B C A B C A B C			
2 学 期	第3回定期試験	・ペース走	<ul style="list-style-type: none"> 自己に適したペースを維持して走ったり、ペースの変化に対応して走ったりする。徐々に記録を向上させる努力をする。 	①観察 ②観察 ③テスト ④ワークシート	A B C A B C A B C A B C			
	第4回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> マット運動（男子） ダンス（女子） 	<ul style="list-style-type: none"> マット運動 基本的な技や発展技をなめらかに安定して行う。技を構成し演技をする。 ダンス 仲間と踊る楽しさや喜びを味わい、表現力や動きの質を高めて、交流や発表ができるようにする。 	①観察 ②観察 ③テスト ④ワークシート	A B C A B C A B C A B C			
3 学 期	第5回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> サッカー（男子） バスケ（女子） 体育理論 	<ul style="list-style-type: none"> サッカー、バスケ 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できる。 体育理論 生涯豊かなスポーツライフを送る上で必要となるスポーツに関する科学的知識を身につける。 	①観察 ②観察 ③テスト ④ワークシート	A B C A B C A B C A B C			
検定資格（時期）		なし						
諸費用（予定）								
履修にあたって		チャイム前には整列をし、大きな声で挨拶・体操をするところから体育の授業は始まります。お互いに100%で授業に臨みましょう。						

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	保健体育・保健	単位	1	履修区分	必履修)・必修・選択
対象学年・類型・コース	1年普通科				
使用教科書	現代高等保健体育・現代高等保健体育ノート				
目標とする生徒の将来像	<ul style="list-style-type: none"> 健康問題に対して、課題解決をするために、自ら考え、発表したり記述したりできる生徒。 生涯にわたって健康を保持増進することができる知識を身につけ、それを活用することができる生徒。 				
評価の観点	<p>①【関心・意欲・態度】 健康問題に対し、興味・関心を持ち、個人あるいは仲間とともに積極的に課題解決をしようとしているか。</p> <p>②【思考・判断】 健康問題を解決するために、個人あるいは仲間とともに工夫したり、協力したりし、考え方を見いだしているか。</p> <p>③【知識・理解】 健康問題やそれを解決するための知識を理解し、発言したり記述したりしているか。</p>				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価
1 学 期	第2回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの健康のすがた 健康のとらえ方 健康と意志決定・行動選択 健康に関する環境づくり 生活習慣とその予防 食事と健康 運動と健康 休養・睡眠と健康 	<ul style="list-style-type: none"> 健康のとらえ方や病気、生活習慣の改善について、理解し、理解したことを発言したり記述したりする。 	<p>①観察 ②観察 ③テスト</p>	A B C A B C A B C
2 学 期	第4回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> 現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 応急手当の意義とその基本 心肺蘇生法 日常的な応急手当 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症や薬物乱用、応急手当について、理解し、理解したことを発言したり記述したりする。 	<p>①観察 ②観察 ③テスト</p>	A B C A B C A B C
3 学 期	第5回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> 欲求と適応機制 心身の相関とストレス ストレスへの対処 心の健康と自己実現 交通事故の現状と要因 交通社会における運転者の資質と責任 安全な交通社会づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ストレスやその対処の仕方、交通安全について、理解し、理解したことを発言したり記述したりする。 	<p>①観察 ②観察 ③テスト</p>	A B C A B C A B C
検定資格(時期)	なし				
諸費用(予定)					
履修にあたって	現在や将来の日常生活をよりよく生活をしていくために必要な内容を学習します。発言やグループワークなども積極的に行い、主体的に授業に臨みましょう。				

平成30年度 1年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	コミュニケーション英語I	単位	3	履修区分	必履修	必修	選択
対象学年・類型・コース	1年 普通科、総合学科科						
使用教科書	NEW FLAG English Communication I						
目標とする生徒の将来像	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的にコミュニケーションを図ろうとする生徒。 ・教科書の英文を読み、書かれている内容を理解できる生徒。 ・英語での対話や説明文などを聞いて、その概要をつかむことができる生徒。 ・学んだことや経験したことをもとに、自分の意見を相手に伝えたり、相手の意見を理解しようとする生徒。 ・学んだことや得た情報を用いて、自分の考えについて、簡単な文章で書き表すことができる生徒。 						
評価の観点	① 定期試験 ② 授業内小テスト ③ 提出点 ④ 授業態度 ⑤ SHR 英単語テスト						
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価		
1学 期	第1回定期試験	Lesson 1 Get Your Goal with English"	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を理解することができる ・現在形、過去形、未来の表現を違いを理解して活用できる ・SVC と SVO の違いを理解し、活用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内の小テスト ・定期考査 ・宿題、提出物 ・SHR 英単語テスト 	A	B	C
	第2回定期試験	Lesson2 Around the world Lesson 3 How our brain works	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を理解することができる ・SVOC の文型を理解し、活用できる ・動名詞、SVO、比較、不定詞を理解し、活用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内の小テスト ・定期考査 ・宿題、提出物 ・SHR 英単語テスト 	A	B	C
2学 期	第3回定期試験	Lesson 4 My Cool Japan Lesson 5 The History of Ice Cream	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を理解することができる ・名詞を修飾する節、不定詞、完了形、受け身を理解し、活用できる ・分詞の後置修飾、不定詞の応用表現を理解し、活用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内の小テスト ・定期考査 ・宿題、提出物 ・SHR 英単語テスト 	A	B	C
	第4回定期試験	Lesson 6 The Hands Lesson 7 Sowing the Seeds of Hope	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を理解することができる ・過去完了形、関係代名詞 what、助動詞の受け身を理解し活用できる ・環境保全のために、個人としてなにができるか考え、表現できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内の小テスト ・定期考査 ・宿題、提出物 ・SHR 英単語テスト 	A	B	C
3学 期	第5回定期試験	Lesson 8 English or Kanji?	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を理解することができる ・分詞構文、強調構文、使役の表現を理解し、活用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内の小テスト ・定期考査 ・宿題、提出物 ・SHR 英単語テスト 	A	B	C
	検定資格（時期） ・ 諸費用（予定）	<p>・実用英語技能検定 年間3回（6月、10月、1月）</p> <p>H30入学生より、入試制度が変わります。外部検定試験が課せられるようになるので、3年次で準2級あるいは2級を取得できるように早めの準備とチャレンジをしていきましょう。</p>					
	履修にあたって	毎時間の授業には、必ず辞書も用意すること					

平成30年度1年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	英語表現Ⅰ	単位	1	履修区分	必履修・必修・選択
対象学年・類型・コース	1年 普通科				
使用教科書	Be English Expression I Standard				
目標とする生徒の将来像	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的にコミュニケーションを図ろうとする生徒。 ・与えられた話題について、一生懸命に取り組む生徒。 ・読み手や目的に応じて、簡潔に英文で書くことができる生徒。 ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。 				
評価の観点	① 定期試験 ② 日常の学習活動 (① 授業小テスト・②授業活動への参加・③英単語テスト・④標準考査・⑤提出物) ③ ALT の授業への積極的な参加と取り組み				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価
1学 期	第1回定期試験	Pre-Lesson Lesson 1 I play soccer	<ul style="list-style-type: none"> Classroom Englishについて理解し、活用できる。 自己紹介の仕方、挨拶の違いなど、様々な文化や習慣の違いを理解できる。 この課の言語材料を使用し、自己紹介したり、書いたり、発表したりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 授業小テスト 授業活動への参加 (英単語テスト) 提出物 ALT の授業への積極的な参加 	A B C
	第2回定期試験	Lesson 2 I went to Dubai with my family Lesson 3 I've finished my homework	<ul style="list-style-type: none"> この課の言語材料を使用し、「休暇や休日」について書いたり話したりする表現を理解する。 文法項目「過去、未来、過去進行形」「現在完了系、過去完了形」の使い方を学び、理解できる。 文法項目の問題を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 授業小テスト 授業活動への参加 (英単語テスト) 提出物 ALT の授業への積極的な参加 	A B C
	第3回定期試験	Lesson 4 The game had already started	<ul style="list-style-type: none"> この課の言語材料を使用し、「学習」について書いたり話したりする表現に親しませる。・文法項目「過去完了形・過去完了進行形・未来完了」の使い方を学び、理解できる。 文法項目の問題を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 授業小テスト 授業活動への参加 (英単語テスト) 提出物 ALT の授業への積極的な参加 	A B C
第4回定期試験	Lesson 5 Can you give me a hand? Lesson 6 I have to prepare for a presentation	<ul style="list-style-type: none"> この課の言語材料を使用し、「食事」について書いたり話したりする表現に親しませる。・文法項目「能力・可能・意志・依頼を表す助動詞」の使い方を学んで理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 授業小テスト 授業活動への参加 (英単語テスト) 提出物 ALT の授業への積極的な参加 	A B C	
第5回定期試験	Lesson 7 You must have a fever	<ul style="list-style-type: none"> この課の言語材料を使用し、「家庭」について書いたり話したりする表現に親しませる。・文法項目「確信・推測・推量を表す助動詞」の使い方を学んで理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 授業小テスト 授業活動への参加 (英単語テスト) 提出物 ALT の授業への積極的な参加 	A B C	
検定資格（時期） ・ 諸費用（予定）	<ul style="list-style-type: none"> 実用英語技能検定 年間3回（6月、10月、1月）⇒入試に必要な場合あり H30入学生より、入試制度が変わります。外部検定試験が課せられるようになるので、3年次で準2級あるいは2級を取得できるように早めの準備とチャレンジをしていきましょう 				
履修にあたって	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間の授業に、必ず辞書を持参すること。 				

平成 30 年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	家庭・家庭基礎	単位	2	履修区分	必履修	・ 選択			
対象学年・類型・コース	1 年・普通科								
使用教科書	新家庭基礎 未来へつなぐパートナーシップ								
目標とする生徒の将来像	人の一生、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、食生活、衣生活、住生活、消費生活、環境などに関する知識と技術を総合的に習得し、生活における課題を見つけ、自ら解決する力を身につけるとともに、実践的な学習を通して、家庭生活の充実向上をめざし、実現できる力をつけています。								
評価の観点	<p>【関心・意欲・態度】生活に关心をもっているか。意欲的、積極的に課題解決しようとしているか。</p> <p>【思考・判断・表現】家庭や地域の生活について見直し、課題をみつけ、その解決を目指して、学んだ知識・技術を生かしたいくつかの方法を比較検討し、意思決定をするなど工夫し創造しているか。まとめて表現できる技術などの技術を応用発展させ、その成果を適切に表現しているか。</p> <p>【技能】家庭や地域の生活に関する基礎的・基本的な技術を習得しているか。調査・観察などの技術を身につけているか。</p> <p>【知識・理解】人間の発達と生活の営みとのかかわり、家族・家庭生活の意義、家庭生活の各分野に関する基礎的・基本的な知識などについて、断片的にではなく実際の生活の充実向上に役立つよう総合的に理解しているか。</p>								
学 期	期間	単元・教材名	主たる目標			評価の観点			
1 学 期	第1回定期試験	1章人と関わって生きる 生き方・子どもを知る 生活・発達・親になる	人の一生を生涯発達の視点で捉える。共に支え合って生活する重要性を理解する。 子どもを産み育てることの意義を知る。			【知・理】 【関・意・態】			
	第2回定期試験	1章食生活をつくる 栄養と食品の関わり 食品の選び方と調理	より良い食生活について考える。 健康で安全な食生活を営むために必要な栄養素の基本的知識を習得する。食品の栄養的特徴と調理上の性質を理解し、基本的な技術と知識を習得する。			【知・理】 【思・判・表】 【関・意・態】 【技】			
2 学 期	第3回定期試験	3章高齢者とかかわる 4章社会と関わる 3編消費者として自立する 関わり・計画・環境	高齢期の特徴と高齢社会の課題について理解する。地域社会での役割について考える。 自らも消費者であることを理解し、消費に関する正しい情報を得られる力を身に付ける。			【知・理】 【関・意・態】 【思・判・表】			
	第4回定期試験	3章住生活を作る 住居平面図 これからの住まい	住宅の種類や住空間の構成について理解し、ライフスタイルにあった住居の選択ができる。生活行為と住空間の種類、広さ、配置などの基本的な考え方を知り、平面図を作成する。			【関・意・態】 【技】			
3 学 期	第5回定期試験	2章衣生活を作る 関わり、素材・管理・環境 全ての人が快適な衣生活 衣服の形・デザイン・実習	衣生活の変化、現状や問題点を把握し、自らの衣生活と結びつけて学ぶ。エプロン製作を通じて裁縫道具・ミシンの扱い方、ボタン付け等ができるようにする。			【知・理】 【関・意・態】 【思・判・表】			
	検定資格（時期） ・ 諸費用（予定）	全国高等学校家庭科食物調理技術検定 4 級（前期 7 月・600 円） 前期で不合格だった場合、希望者は後期試験（後期 1 月・600 円）受験可能 次年度、食文化 選択者は 3 級受験予定のため、本授業にて 4 級を必ず取得すること。							
	履修にあたって	<ul style="list-style-type: none"> 講義、調理・被服製作実習、体験学習、調査・研究、ホームプロジェクトなどの学習を通して、社会のさまざまな現象についてより深い理解と関心を高め、生活に生きて働く力についていきたいと思います。 授業は、みなさんが主役です。自分の意見をしっかりともち、仲間の意見には耳を傾け、眞面目に主体的に取り組みましょう。発展学習にも積極的に挑戦し取り組みましょう。 							

教科・科目	芸術 音楽 I	単位数	2			
学年・系列・コース	普通科・農業科 1 学年 総合学科 2 学年					
使用教科書	MOUSA 1 教育芸術社	副教材	ミュージック・ノート			
目標とする生徒の将来像	音楽 I では、生涯にわたって音楽に親しんでいくための基盤となる力を育てたい。そのために第一は、音楽の授業において自ら学ぶ態度と方法を身につけることを目指す。第二に、自分の知る曲や興味のあるアーティストだけではなく、世界の様々な音楽に親しませ、広い音楽的視野を身につけさせることを目指す。					
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。 創意工夫を生かした表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。 音楽の基本的な知識を理解し、音楽表現の向上に結びつける。 					
学期	期間	単元・教材	主たる目標・評価のポイント	評価方法		
1 学期	4	校歌 やさしさに包まれ たなら 少年時代	様々な表現方法による歌唱活動に関心を持ち演奏効果を生かして歌うことに主体的に取り組む。	校歌(詩)をノートに写し提出		
	5	バロックまでの音楽 グレゴリオ聖歌 合奏 協奏曲ほか	様々な時代の音楽や作曲家の特徴、楽器の音色等表現上の効果に関心を持ち、その文化的・歴史的背景を踏まえて鑑賞することに主体的に取り組む。	鑑賞の記録		
	6	音符と休符 音名と譜表	音楽の基本的知識について理解し、音楽表現の興味に結びつける。	筆記試験		
	7	三味線 さくらさくら お江戸日本橋 イタリア歌曲 Caro mio ben O sole mio	三味線の音色や奏法の特徴を生かして、技能を身につけ表現を工夫する。	実技試験		
			曲想と歌詞の内容、楽曲の背景と関わらせて、イメージを持って音楽表現するために、必要な歌唱技能を身につけ、創造的に表現する。	実技試験		
	2 学期	9	日本の歌から 故郷 この道ほか	曲想と歌詞の内容、楽曲の背景との関わりに関心を持ち、それらを生かして歌うことができる。	発表	
		10	古典派の音楽 モーツアルト作品	様々な時代の音楽や作曲家と、その文化的・歴史的な背景を踏まえて鑑賞する	鑑賞の記録	
11		音名、演奏の形態 楽典	音楽の基本的知識について理解し、音楽表現の向上に結びつける。	筆記試験		
12		合奏 リコーダーほか	名楽器の音色や奏法の特徴を生かし、仲間と協調性や積極性を持ち、完成度の高い音楽表現を工夫する。	発表		
		月				
3 学期	ドイツ・リート 野ばら リズム テキスト	曲想と歌詞の内容、楽曲の背景と関わりに関心をもち、それらを生かして歌うことができる。	実技試験			
	ロマン派以降の音楽 シューベルト作品	音楽を形作っている要素に興味をもち、理解・表現することができる。	実技試験			
履修にあたって	○音楽を形づくっている要素が楽曲を特徴づけるのにどのような役割をしているかを、創作や鑑賞活動を通して理解する。					
諸費用：500 円	○実技体験を通して、表現の向上や意欲を培う。					
ファイル・実技準備費						

教科年間シラバス

詳細は授業にて指示

教科年間シラバス

詳細は授業にて指示

教科・科目	芸術 書道 I	単位数	2			
学年・系列・コース	普通科・農業科1学年 総合学科2学年					
使用教科書	書 I 光村図書	副教材				
目標とする生徒の将来像	生涯にわたって芸術を愛好する心情を育む。書道の様々な活動を通して、生活に根ざした「書」を意識し、実用的な書を身につけることで、芸術的な能力を伸ばす。					
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 自発的な意図から作品の効果を高める工夫をし、取り組む。また、意欲的・主体的に活動を行い構想から完成までの充実感や表現する喜びを味わおうとする。 基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を把握している。 意図に基づく表現の構想と工夫がされている。 					
学期	週	単元・教材	主たる目標・評価のポイント	評価方法		
1 学期	4	書へのいざない 「書道の世界へ」	<ul style="list-style-type: none"> ○書写と書道の違いを理解できているか。 ○文房四宝の役割を理解しているか。 ○紙面の空間・墨量を意識できているか。 ○古典の臨書学習により基本的な点画や線質の表し方、執筆法・運筆法を学ぶ。 ○それぞれの作品の特徴・時代・人物を区別できているか。 ○筆使いがしっかりと理解できているか。 ○紙面への工夫が凝らされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○参加状況・態度 ○提出物(名前カード) ○参加状況・態度 ○提出物(名前カード・作品) ○参加状況・態度 ○提出物(名前カード・作品) ○参加状況・態度 ○提出物(名前カード・作品・相互評価プリント) 		
	5	漢字の書の学習 「漢字の書の世界へ」				
	6	「楷書の古典を学ぼう」				
	7					
2 学期	9	漢字の書の学習 「書道パフォーマンスとは」「行書の古典に学ぼう」	<ul style="list-style-type: none"> ○行書の筆法・くずし方を理解しているか。 ○古典の鑑賞により多様な表現方法・字形の崩し方を理解しているか。 ○楷書との入筆の違いを理解しているか。 ○筆順を理解しているか。 ○それぞれの古典の特徴・時代・人物について理解しているか。 ○事前の準備がしっかりとされているか。 ○紙面への工夫が凝らされているか。 ○学んだ用筆法がしっかりと使われているか。 ○紙面に対しての構成が工夫されているか。 ○プリント課題への取り組み。 ○落款について、その用途・効果について理解しているか。 ○篆刻の形状にあうものを制作できているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○参加状況・態度 ○提出物(名前カード・作品) ○参加状況・態度 ○提出物(名前カード・作品・相互評価) ○参加状況・態度 ○提出物(名前カード・作品・相互評価プリント) 		
	10					
	11	「半切創作作品制作」				
	12	生活の書 「くらしの中の書」 篆刻の学習				
3 学期	1	仮名の書の学習 「仮名の基本・いろは歌・高野切第一種を学ぶ」	<ul style="list-style-type: none"> ○成立や種類について理解しているか。 ○仮名の線、運筆について理解しているか。 ○古筆の表現方法を学習し、空間の使い方、文字の大小について理解しているか。 ○これまでに身に付けた筆法・表現方法を生かして、身近な文書を書芸術として表現できるか。 ○自分の考えをしっかりと持てているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○参加状況・態度・提出物(名前カード・作品・ペーパーテスト) ○参加状況・態度・提出物(名前カード・作品) ○参加状況・態度・提出物(名前カード・作品・発表・相互評価プリント) 		
	2					
	3					
	月	漢字仮名交じりの書				
履修にあたって		○習字と書道の違いを理解することで、「文字」に対する芸術としての視点、多角的な見方を学んでもらいたい。				
諸経費:1,000 円		○手書き文字は生涯、必要不可欠である。そのため、文字を書く事の楽しさを覚えもらうと同時に、手書き文字には自分の心情が表れるということを学んでもらい、手書き文字の大切さを学んでもらいたい。				
印材・カレンダー等						